

事後評価シート

コード 12-2-2	事務事業名 スポーツ施設の改修	所管部課 生涯学習部スポーツ振興課
---------------	--------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 既存のスポーツ施設を利用者が安全・快適に利用できるように、計画的に緊急性の高い施設から改修を実施する。	事業の区分 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 既存のスポーツ施設を維持管理していくため、計画的に緊急性の高い施設から改修を実施する。 施設は12箇所	根拠法令等 スポーツ施設条例
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 改修件数	活動指標の考え方(定義) 各年度にスポーツ施設改修をする件数(事務事業報告書記載のもの)
	改修実施率	年度内におけるスポーツ施設の改修実施率
	成果指標名	成果指標の考え方(定義)
	1次	1次
	1次	1次
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	19,726	61,383	28,628	7,302
	国庫支出金					
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		19,726	61,383	28,628	7,302
	所要人員(B)	人		0.3	0.3	0.3
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	2,498	2,456	2,456
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	19,726	63,881	31,084	9,758
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (改修件数)	千円	2818	12776	4441	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	件			7	2
	実績値	件	7	5	7	
活動指標	目標値	%			100	
	実績値	%	100	100	100	
1次成果指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値					
	実績値					
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成16年度に実施した「スポーツに関するアンケート調査」結果では、より良い施設・設備が求められている。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	近隣各市とも施設の改修については当市同様、計画通りにはなかなか行かず、緊急度の高い改修を優先して行っている。
	運営上の制約条件・外部要因等	財政運営上、予算が付かない。 平成20年度、指定管理者を一般公募するまでに速やかにかつ適切な施設改修を行わなければならない。

コード 12-2-2	事務事業名 スポーツ施設の改修	所管部課 生涯学習部スポーツ振興課
---------------	--------------------	----------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等	
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である	4	安全かつ適正に施設管理するためには施設改修は必要である。	
	目標の妥当性 3 市が独自に目標を定量的に設定している	3		
	緊急性 5 財政難の中、他の事務事業を休止してでも優先して実施する必要がある	5		
2 市が必要とする必要性	法的義務性 5 法律で実施することが義務づけられている	5		公共施設のため、市が改修しなければならない。
	必要性 4 安全・安心・健康な市民生活の水準の維持に不可欠なサービスである	4		
	民間との役割分担 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(民間・公共問わず)は確認されていない	5		
3 内容の適切さ	ニーズ 5 市民(市内)ニーズに関係なく実施する必要がある	5	安全かつ適正に施設管理するためには施設改修は必要である。	
	規模・方法の妥当性 5 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズに基づき毎年見直している	5		
	公平性 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民または団体である	4		
4 実施手段の適切さ	有効性 1 質・水準の改善にはあまり取り組んでいない	1		計画しても先送りになる工事・改修が多く、適切な施設改修が進んでいない。
	効率性 2 市直営の中で具体的な計画や目標等に基づきコスト低減に取り組んでいる	2		
	独自性 5 国・都及び市内には同種の目的を有する他の事務事業はない	5		
合計		48		

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	施設改修については計画的に改修を目標としているが、施設老朽化著しくため、当初の計画より緊急度の高い改修が発生してしまうことが多く、なかなか計画通りに改修が進まないため。また、指定管理者への一般公募を直前に控え率先して施設改修をおこなわなければならない。

18年度における改善点	
-------------	--

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	20年度からの本格的指定管理者導入に向け、公共施設白書との整合性をはかりながら、18年度中に基本的な改修計画を策定し、19年度からは、優先的に改修を実施していく必要があると考える。
------	---	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	二次評価記載のとおり、20年度からの一般公募による指定管理者導入に向け、18年度中に基本的な改修計画を策定し、早期に予算化し改修を実施していくべきである。
--------	---	---